

学びのストーリー（単元の流れ）	授業デザイン	評価規準／評価方法
1次 1～5 テーマを考えよう ◎この1年間、どんなことをテーマにしようか。 ・小田原のことを調べてみんなに伝えたいな。 6～10 小田原の何について調べようか ・桜井小学校のみんなに伝えたいな。 ・小田原のすごさを知ってもらって、もっと好きになってほしい。 ・かまぼこが名物だから調べてみたい。・尊徳先生も有名だよ。 ・小田原城は小田原のシンボルだから調べてみたい。 2次 11 調べる計画を立てよう ◎調べる順番や期間を考えよう。 ・初めは小田原城で、次にかまぼこ。時間があれば尊徳先生を調べよう。 12～29 小田原城について調べよう ◎小田原城のすごさって何だろう？ 【人】・北条五代が100年間守り続けたんだね。 【仕組み】・門に穴があって、そこから矢を打ったんだね。 ・総構えが町を守っていたんだね。 30 小田原城をまとめよう ◎小田原城って何がすごいのかな？ ・北条五代が活躍して最後の最後まで戦っていたこと。 3次 31～39 小田原のかまぼこについて調べよう ◎小田原かまぼこの何を調べようか？ 【特徴】・水や材料においしさの秘密があるんだって。 【作り方】・板付けってところで職人さんが活躍しているよ。 ・実際に作って見たら職人さんの苦労や工夫がわかるかな。 40～45 実際にかまぼこ作りを体験をしたり、小田原城に行ったりしよう。 ・かまぼこ作りって難しいな。職人さんってすごい。 ・お城を守る仕組みがいろいろあったな。 46 小田原のかまぼこをまとめよう ◎小田原のかまぼこって何がすごいのか？ ・弾力があって、ほかのかまぼこよりおいしいってことかな。 4次 47 自分たちの伝えたいことを考えよう ◎小田原のすごさを知ったけど、みんなは何を伝えたいのかな ・北条五代のしたことがすごいから伝えたい。 ・かまぼこの作り方や材料を伝えたい。 ・それぞれの伝えたいことに合った伝え方があるんじゃないのかな。 48 発表を誰に伝えたいのか考えよう ◎みんなの発表を誰に伝えたいかな。 ・「桜井のみんな」だから全校のみんなかな。 ・高学年のみんなは知っているかもしれないから低学年かな。 →1～3年生のみんなに直接伝えよう！ 49～59 それぞれのグループで発表の準備をしよう ◎それぞれのグループで何を、どうやって伝えるか考えよう。49 ・言葉だけでなく絵や写真を見せよう。 ◎グループごとに準備をしよう。50～55 ◎まずは隣の学級に伝えよう。56 ・練習通りに話せたな。きっと小田原のすごさが伝わったな。 本時◎アンケートの結果を見て、さらに良くなる発表を作ろう。57 ・もっと分かりやすくしないと低学年のみんなには難しいな。 ・北条五代のしてきたことを簡単な言葉にして伝えないと。 ・かまぼこ職人さんの努力や苦労をもっと伝えたいな。 ◎発表の手直しをしよう。58,59 60 低学年のみんなに伝えよう ◎伝えてみてどうだったかな。 ・きっと小田原をもっと好きになってもらえたと思う。 ・これから小田原に興味をもってくれるといいな。	手立てや概念 初めての総合なので、どのような流れで進めていくのか、こちらから子ども伝える。 響き合う なぜそのテーマにしたのか、理由を話すことができる姿を価値づけていく 自己調整 「だれに」「何のため」を明確にすることで1年間の総合のテーマを明確なものにすることで、いつでも立ち戻れるようにする。 手立てや概念 計画を掲示しておくことで、見通しをもって活動できるようにしておく。 手立てや概念 初めての調べ学習なので、みんなで足並みを揃えて進めていくことで、安心感を与えるとともにクロムブックの使い方に慣れさせていく。また、難しい言葉はこちらでかみくだいて伝える。 高め合う 情報交換の際、友だちが見つけた情報を取り入れることで、新たな発見があることに気付かせる。また、最後にワークシートにまとめることで、自分が何を学んだのか自己理解できるようにする 手立てや概念 クロムブックの扱いに慣れたところで、特徴や作り方など調べたいことを役割分担して調べる。 自己調整 小田原城やかまぼこ作りにおけるすごさは調べてみるだけでは分からないことに気づき、実際に「触れて」「見て」学びたいという思いをもつ 手立てや概念 自分が伝えたいことを明確にし、それをもとにグループ分けすることで、これからの発表に意欲をもって取り組めるようにする。 手立てや概念 残された時間を掲示しておき、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 響き合う 国語の学習を生かして話し合いを進めることで、グループ全員で意見を共有し、活動が進むようにする。また、その姿を認めていく。 自己調整 自分の考えに固執するのではなくグループの友だちの意見を取り入れ、よりよい発表のために必要なものを考える。 高め合う 客観的な意見を取り入れることで自分たちの発表の足りなかったところに気づき、もっとよくするアイデア考えることができる。 手立てや概念 アンケートなどで自分たちの発表の反応が分かるようにする。 高め合う 発表の成果を振り返ることで、この1年間での総合の学びを体感し、次年度への思いを作る。	【知識・技能】 ・小田原城のしくみやつくり、北条五代の行いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・数ある情報から、必要な情報を取捨選択して活動に取り組んでいる。 【知識・技能】 ・小田原かまぼこの特徴、職人さんのすごさに気づき、理解している。 【学びに向かう力・人間性】 ・自分の知らない情報を進んで取り入れ、発表に生かそうとしている。（ワークシート、発言） 【思考・判断・表現】 ・聞き手の視点に立ち、分かりやすい発表を考えている。 【学びに向かう力・人間性】 ・グループで協力し、活動を進めている。（発言） 【学びに向かう力・人間性】 ・1年間を通して学んだことを今後に生かそうとしている。（ワークシート）
願う子どもの姿 ・友だちの考えや思いを知り、自分と比較することで学びを広げたり、深めたりする姿。 ・小田原城や小田原かまぼこについて知ったこと、体験したことを分かりやすく伝えようとする姿。 ・たくさんの情報から自分たちのテーマ、目標にあったものを取捨選択し、学びにつなげようとする姿。		